

STAGE+を楽しむ(117)(HP 収録)
—セガンのブラームス・ツィクルス—

1. 始めに

前報(116)に引き続き、STAGE+のセガンのブラームス・ツィクルス・シリーズの演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、セガンのブラームス・ツィクルス・シリーズの演奏を選びました。

ネゼ=セガンが挑むブラームス・ツィクルス・シリーズ

バーデン・バーデン祝祭劇場

収録日: 2023年7月7日

2022年のグラミー賞で「最優秀オーケストラ演奏賞」を受賞した指揮者、ヤニック・ネゼ=セガン。ニューヨーク・メトロポリタン歌劇場の第3代音楽監督として活躍する彼は、バーデン・バーデンの祝祭劇場で2022年にブラームスの交響曲ツィクルスを開始しました。本映像ではその模様が収められており、交響曲第3番と第4番が演奏されます。美しく旋律を紡ぎつつも、重厚なサウンドを作り上げており、ブラームスの音楽の真実に迫ろうとするネゼ=セガンの強い思いが伝わってくるでしょう。

演奏:

ヨーロッパ室内管弦楽団

指揮:

ヤニック・ネゼ=セガン

曲目:

ヨハネス・ブラームス 交響曲第3番へ長調 op. 90

ヨハネス・ブラームス 交響曲第4番ホ短調 op. 98



3. 試聴の経過

前回に引き続き、スピーカーアキュライザーの位置を変更し、スピーカーアキュライザーからのバイワイアリングケーブルにケーブルチューナーを装着し、ルーター→スイッチングハブ→PCの2本のLANケーブルにLANアキュライザーを使用しています。さらに、スイッチングハブに光城精工の仮想アース Crstal EpL を接続し、ルーターに自作の仮想アースを接続しています。

バーデン・バーデン祝祭劇場におけるセガンのブラームス・ツィクルス・シリーズのプログラムです。

ブラームスの交響曲第3番も交響曲第4番もお馴染みの曲です。セガンのきびきびした指揮でブラームスらしい地味ながら味わい深い演奏です。

祝祭劇場という環境からか、音質はさほどよくありません。収録器材の問題と思われます。



4. まとめ

LAN アクライザーと Crstal EpL の効果により、祝祭劇場という環境の収録器材の問題で、音質はさほどよくありませんが、ブラームスらしい地味ながら味わい深い演奏の一端はうかがい知ることができます。

以上